

県中建設事務所における小学生を対象とした建設現場見学会について

様式2



福島県県中事務所企画調査課
技師 中村光宏

体験型の見学会

施工場所：国道288号船引バイパス、逢瀬川

1. はじめに

建設業界は、少子高齢化等によって、担い手不足の問題に直面

小学生を対象にした建設現場見学会は、建設業の将来の担い手確保に向けて、まずは小学生に建設業に興味を持ってもらえるようにし、建設業に対する理解を深めてもらう事を目的に開催

平成30年度は県内8建設事務所全てで「体験型」の見学会を実施

対象小学校

田村市立美山小学校 5, 6年生17名(5年生7名、6年生10名)



見学会の様子

2. 県中建設事務所の取り組み

(1) 国道288号 船引バイパス

- 道路工事現場見学
- 重機乗車体験、重機デモ運転
- ドローンによる空撮



重機乗車体験

(2) DVD上映

- 室内学習
- ※「建設業」について、
魅力を伝えるDVDを鑑賞



ドローンによる空撮

(3) 逢瀬川

- 河川工事現場見学
- 野芝張り体験
※目出し、かけ土の体験



DVDの上映



野芝張り体験

3. 各現場で工夫した点

(1) 国道288号船引バイパス

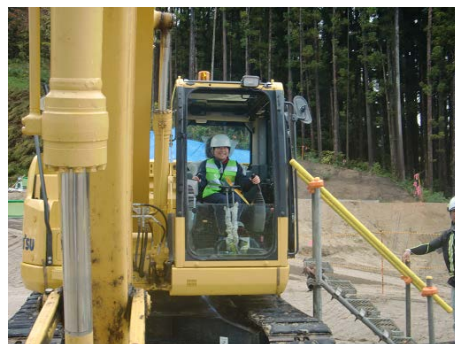
- ゴムマットを敷き歩行通路の確保
- 全員が体験できるよう重機を2台準備
- 重機に乗車しやすいように階段を設置



歩行通路の確保

(2) 逢瀬川

- 施工時期を調整し、工種を選定
- 子ども用の道具を準備
- ※木製の小さいハンマー



階段の設置



子ども用の道具

(3) 全体を通して

- 読みやすいように配布資料にふりがなを振る
- 全員が作業を行えるものを選定

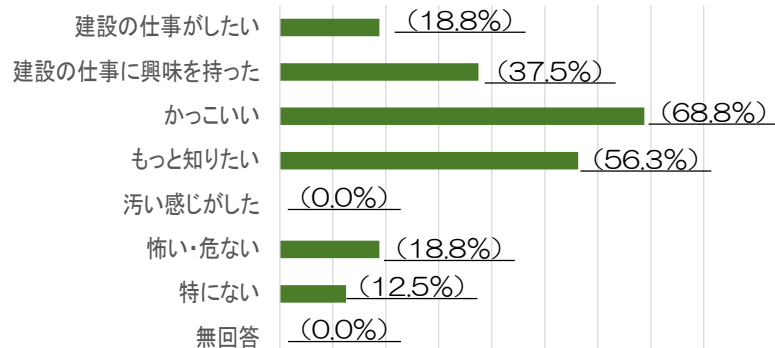


全員参加が可能

4. アンケート結果

質問: 建設の仕事についてどんな印象を持ちましたか

0 10 20 30 40 50 60 70 80 (%)



- ・建設業に携わっている女性もいることに驚いた。
- ・芝張りが楽しかったが、これを何倍もの速さで作業をする工事の人はすごいと思った。等

5. おわりに

○見学会を通して、まずは建設業を知ってもらうことが重要で、イメージしやすい体験によって、将来の担い手へのアピールになったと考えられる。

